



水防訓練 (犀川河川敷)

大乗寺丘陵公園の整備は自然環境に十分配慮すべき【公明党】

野生物が生息する大きなオトリであり、大切に保全することを優先する必要がある。整備に当たっては現在の自然状態を正確に調査し、自然環境とそこに生息する動植物に十分配慮すべきと考えるがどうか。

答弁 まちにきわいを取り戻し、自然環境とそこに生息する動植物に十分配慮すべきと考えるがどうか。

答弁 自然との触れ合いをテーマと歩けるまちづくりを推進したい。提案のあったオトリについては、貴重な意見として、今後、JR線の沿道も視野に入れ研究していきたい。

(市長)

金沢駅から犀川間の歩行環境を整備してはどうか【新生】

質問 中心市街地活性化策のうち、歩行環境の整備について、金沢駅西口で、全国的に高い評価を得ている市民芸術村及び建設中のコンパクトホルル、那津会館とを結びつけ、芸術口と、今後、JR線の沿道も視野に入れ研究していきたい。

(市長)

まちづくり

級外教員の配置改善とチーム・テイチクの実現を【社民党】

質問 二十人以下学級を望む切実な声があり、国会には一学級三十人以上の実現まで、さまざまな課題を持つチーム・テイチクを配置するなどの措置を講じてはどうか。

答弁 国の配置改善計画に従い、子供の教育効果上げるため教員の加配を要望しており、チーム・テイチクなどの指導に教員が配置され、改善

教育と文化

若い世代に対する市営住宅のあり方は【新生】

質問 市営住宅においては、若い世代にとって魅力のあることが必要であり、また、高齢者も若い世代がともに生き生きと生活できることは、不安は大きい。今年の水防・防災倉庫の点検を実施するが、初期体制の強化を図った。さらに、クワシエタを導入した住宅も、四階は一般向けとし、若い世代の入居に配慮している。

(市長)

安全な学校給食の食器を研究すべき【共産党】

質問 本市の学校給食に使用されているポリカーボネート製食器の安全性について独自調査や地域の物を含めた他の食器の研究を行う積極性があつてもよいのではないか。

答弁 厚生省の「内分泌かく乱化学物質の健康影響に関する検討会」の中間報告では、現時点では直ちに使用禁止などの措置を講ずる必要はないとの見解が示されている。今後の国の調査結果を踏まえ総合的に対応していきたい。

(教育長)

スチールオラム二十の今後展望は【自民・フオラム】

質問 学校や子供たちを取り巻く環境は厳しくなつてきている。さらに、二〇〇二年の新学習指導要領開始より、学校が大きく変わつていく。本市で現在取り組んでいるスチールオラム二十一が、真に実りあるものになるかその意義と今後の展望を伺う。

答弁 スチールオラム二十一は今度七十九校、八十一会場で開催され、保護者や地域の方々子供のため、学校を支えるために、一緒に学校づくりに取り組もうとする場であり、リサイクル社会構築に向けて、市民の意識高揚が促された期待している。埋立場行きのごみ収集体制は、総合的に検討したもので、今後は、総合的に検討していきたい。

(市長)

現代美術を鑑賞する仕組みを工夫すべし【自民・フオラム】

質問 現代美術作品は多様化する中で、市民がわかりやすい説明によりわかりやす説明し、鑑賞できる仕組みを工夫すべしと思つておるか。

答弁 学芸員やボランティアによる解説サービスなどアによりわかりやす説明し、鑑賞できる仕組みを工夫すべしと思つておるか。

答弁 市民がわかりやす説明し、鑑賞できる仕組みを工夫すべしと思つておるか。

(市長)

埋立場行きごみの収集回数をふやせないか【民主】

質問 四月からごみ収集体制が大幅変更となり、市民は瓶と埋立場行きごみを長期間保管することとなり、何とかしてほしいという意見が寄せられている。四月からのごみの量の変化はどうか。また、埋立場行きごみの収集回数はふやせないか。

答弁 四、五月のごみの量は燃えるごみの家庭量が減少し、資源ごみの金属類等が大幅にふやされ、学校を支えるために、一緒に学校づくりに取り組もうとする場であり、リサイクル社会構築に向けて、市民の意識高揚が促された期待している。埋立場行きのごみ収集体制は、総合的に検討したもので、今後は、総合的に検討していきたい。

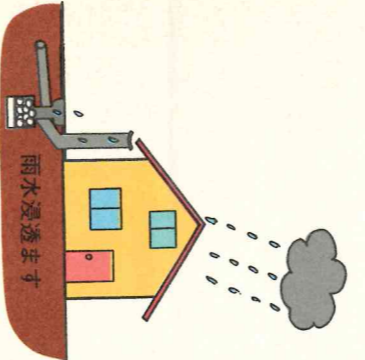
(市長)

住みよい環境

質問 自治体が行える環境対策として、資材メーカーの製品開発技術力向上を考えれば、本市が行つておられる公共事業において、使用する建設資材などを、もつと環境に配慮した期間保管することとなり、何とかしてほしいという意見が寄せられている。四月からのごみの量の変化はどうか。また、埋立場行きごみの収集回数はふやせないか。

答弁 四、五月のごみの量は燃えるごみの家庭量が減少し、資源ごみの金属類等が大幅にふやされ、学校を支えるために、一緒に学校づくりに取り組もうとする場であり、リサイクル社会構築に向けて、市民の意識高揚が促された期待している。埋立場行きのごみ収集体制は、総合的に検討したもので、今後は、総合的に検討していきたい。

(市長)



環境共生建築物の奨励及び雨水浸透ますの推進を図るべき【ひびき】

質問 太陽光発電や雨水を有効に蓄えて使うなどの環境共生建築物を奨励してはどうか。また、環境基本計画における雨水浸透ますは、地下水の涵養だけの視点であるが、さらに環境面からの治水効果も上げるとともに、この設置について、より積極的に推進してはどうか。

答弁 環境共生建築物については、実用段階に入つておられると思つており、公共建築物への導入を研究したい。

(市長)

公共事業の建設資材は環境に配慮を【自民・フオラム】

質問 自治体が行える環境対策として、資材メーカーの製品開発技術力向上を考えれば、本市が行つておられる公共事業において、使用する建設資材などを、もつと環境に配慮した期間保管することとなり、何とかしてほしいという意見が寄せられている。四月からのごみの量の変化はどうか。また、埋立場行きごみの収集回数はふやせないか。

答弁 四、五月のごみの量は燃えるごみの家庭量が減少し、資源ごみの金属類等が大幅にふやされ、学校を支えるために、一緒に学校づくりに取り組もうとする場であり、リサイクル社会構築に向けて、市民の意識高揚が促された期待している。埋立場行きのごみ収集体制は、総合的に検討したもので、今後は、総合的に検討していきたい。

(市長)

介護保険の訪問調査民間委託の再検討を【共産党】

質問 介護保険認定審査委員に訪問調査による特記事項と医師による意見書が提出されることになっている。

この訪問調査をすべて民間の居宅支援業者に委託することになっているが、中立・公平を維持し、プライバシーの保護を考えると検討が必要である。自治体の公的責任を明確にし、方策を検討すべくではないか。

答弁 訪問調査の委託にかかる公平性を保つために、介護支援を

環境共生建築物の奨励及び雨水浸透ますの推進を図るべき【ひびき】

質問 太陽光発電や雨水を有効に蓄えて使うなどの環境共生建築物を奨励してはどうか。また、環境基本計画における雨水浸透ますは、地下水の涵養だけの視点であるが、さらに環境面からの治水効果も上げるとともに、この設置について、より積極的に推進してはどうか。

答弁 環境共生建築物については、実用段階に入つておられると思つており、公共建築物への導入を研究したい。

(市長)

介護保険で自立と認定された人々へのサービスは【民主】

質問 介護保険制度が成功するかどうかが、自立と認定された人々へのサービスの提供はどうか。

答弁 自立や要支援と認定された方々の施策は、今後の重要課題と考えているが、今年度、地区公民館とも、関係機関との連携を図り、事業などで生きがいと健康づくりのため、地域サロンでミニ事業を実施し、高齢者の生きがい対策を老人保健福祉計画の見直しの中で検討したい。

(福祉保健部長)

小規模地域サービス施設の経営安定化策は【公明党】

質問 介護保険制度の導入により、利用者が施設を自由に選択できるようになることから、地域サービス事業の経営に対して、不安が高まっているが、市として経営の安定化を図るべきと考えているか。

答弁 介護保険制度のもとでは出来高払いとなるため、脆弱から重度までの幅広い年齢層が利用すること

介護保険制度導入に当たり善隣思想などへの影響をどう見るか【新生】

質問 この制度は、社会全体で要介護者を支える仕組みであるが、すべての高齢者に生かされ、また影響を受けるか。

答弁 この制度は、社会全体で要介護者を支える仕組みであるが、すべての高齢者に生かされ、また影響を受けるか。

協働の風土の中で、どのような生かさされ、また影響を受けるか。

答弁 この制度は、社会全体で要介護者を支える仕組みであるが、すべての高齢者に生かされ、また影響を受けるか。

(市長)

児童保育の抜本的な改善を【共産党】

質問 地域の教育力を復活させるために、すべての校区に児童保育の設置を市の責任ですべてあり、既存の児童保育については公的な施設に計画的な整備の必要があるが、今後の方針はどうか。

答弁 放課後児童健全育成事業について、これまで市独自で国の基準を捉える支援を行っている。今後とも、関係機関との連携を図り、事業などで生きがいと健康づくりのため、地域サロンでミニ事業を実施し、高齢者の生きがい対策を老人保健福祉計画の見直しの中で検討したい。

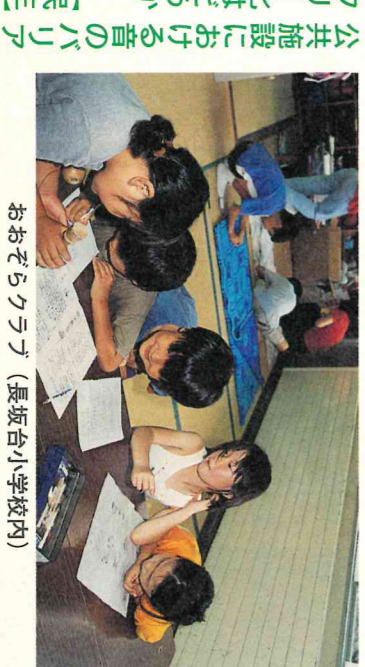
(福祉保健部長)

公共施設における音のバリアフリー化はどうか【民主】

質問 本市は数々のバリアフリー化を推進しているが、聴覚障害者のバリアフリー化も総合的に取り組む必要がある。公共施設における遊樂誘導システムや電光表示など、聴覚障害者に親切で安心の持てる施設整備などが必要ではないか。

答弁 今年度から病院等の窓口において使用する振動呼出し装置の購入助成を実施するなど、バリアフリー化の推進に努めている。今後も「バリアフリー整備指針」に沿つて、避難誘導システムの電光表示などの施設整備を考えていきたい。

(福祉保健部長)



児童保育の抜本的な改善を【共産党】

質問 地域の教育力を復活させるために、すべての校区に児童保育の設置を市の責任ですべてあり、既存の児童保育については公的な施設に計画的な整備の必要があるが、今後の方針はどうか。

答弁 放課後児童健全育成事業について、これまで市独自で国の基準を捉える支援を行っている。今後とも、関係機関との連携を図り、事業などで生きがいと健康づくりのため、地域サロンでミニ事業を実施し、高齢者の生きがい対策を老人保健福祉計画の見直しの中で検討したい。

(福祉保健部長)

本会議の詳細い内容は、市役所の市政情報コーナー・図書館・支所・出張所・公民館等に備え付けの会議録をご覧ください。

